

鹿沼市議会 経世会

2025年3月29日発行
発行責任者 舘野 裕昭



去る3月7日、会派として20項目の要望を松井市長に対し提出いたしました。昨年6月の市長就任後としては初めてとなり、また令和7年度中の鹿沼市総合計画の見直し策定を控え、市政全般に係る内容であります。その主な内容は下記の通りです。

回答は次号の会派広報誌で報告させていただきますが、今後もより多くの市民の皆さまのご意見やご要望を丁寧に伺い、一つでも多く市政に反映してもらえよう、経世会として一丸となって精進して参ります。引き続きのご指導、ご支援よろしくお願いいたします。



経世会代表
舘野 裕昭

令和7年度の主な事業内容 ～経世会 choice 10～

- 出産・子育て応援金を20万円に倍増（1億600万円）
- 体育館への空調整備（4億3,918万円）
- 学習用タブレットの更新（6,365万円）
- ひきこもり地域支援センターの設置（2,303万円）
- 市内に就職した若者への新卒者就職祝金や奨学金返還支援の実施（900万円）
- 物価高騰対策 プレミアム付商品券の発行支援（6,600万円）
- キャッシュレス決済ポイント還元の実施（1億円）
- 鹿沼インター産業団地の整備 西地区調査設計業務（5,185万円）
- 大芦川観光公害対策 パトロールの実施等（249万円）
- 合葬墓の整備（7,116万円）



議会報告会・意見交換会

昨年11月、鹿沼市議会としての議会報告会・意見交換会を12地区(全17地区中)で開催することができました。いただいたご意見は①現地調査等を行い市長から回答を求めるもの②議会への意見③情報提供を含む意見として伺ったもの の3つに分類し、必要か所では迅速に各班の議員が現地調査をし、全体として情報共有を行うことができました。現在は市からの回答待ちです。
(報告書等の詳細は鹿沼市のHPをご覧ください)



また、12地区中3地区では、議員定数に対する厳しいご意見を頂戴しました。

私たち経世会は、一貫して「議員定数20名」を提唱しており、現在設置されている議会改革特別委員会の中で、引き続き協議を続けてまいります。

令和7年3月提出 経世会の主な要望事項

舘野議員

- 国道121号、国道293号（楡木バイパス）、及び国道352号の道路網を生かした、鹿沼市の将来道路網を構築すること
- スマートインターチェンジの設置に関する取り組みを加速させること
- 鹿沼インター産業団地や宇都宮西中核工業団地、壬生羽生田産業団地のアクセス強化を図ること

小島議員

- 思川開発事業・南摩ダム完成後を見据え、観光資源の掘り起こしや回遊策を整え、水源地域を拠点とする西北部の活性化を積極的に進めること
- 森林資源の有効活用のため、森林多面的機能支援交付金を増額し、作業道の整備促進や協力体制整備への支援を積極的に行うこと
- 野生鳥獣対策として、個人及び共同での設置するワイヤーメッシュや電気柵の永続的な設置推進やメンテナンス支援、猟友会の人材確保支援を行うこと

石川議員

- 新鹿沼駅西側への公衆トイレの設置と、駅東側に高校生をはじめ、市民が集える憩いの場を創出し、新鹿沼駅周辺の活性化を図ること
- 産後ケアを実施する医療機関が永続的に事業を継続できるよう、支援拡充を図り、安心して子どもを産み育てられる環境整備を行うこと
- 発達障がいや不登校、引きこもりに対する適切な理解を促進し、支援者の輪を広げ、支援拡充を図ること

大貫議員

- 西北部地域への企業誘致及び農業用地の転用を速やかに進める方策を推進することで人口減少に歯止めをかけ、財政基盤の安定化を図ること
- 花木センターの業務内容縮小化を図り、さつき生産者への対策強化と施設の改修を進め、民営化を推進すること
- 高齢者が安心して買い物等外出できるよう、予約バス・地域共助型交通の運行エリア拡大や、タクシー助成券の利用者枠の拡大を図ること

橋本議員

- 食の自立支援事業において、配食サービス提供者の拡大を行い、利用者の利便性向上と費用効率化を図ること
- 生活道路、通学路において、用水路への転落防止などの交通安全施設を推進すること
- ゴルフ場利用税交付金を活用し、ゴルフ場を交流拠点としたイベントの開催等を支援し、地域の活性化を推進すること

経世会 行政視察報告①

高齢化に関する課題への取り組み状況等について、秋田県横手市及び岩手県滝沢市における、地域包括ケアシステムの構築を通じた、対策対応について研修しました。結果は以下の4点に集約できると思われる。今後も引き続き、日本各地で試行錯誤されている先進的事例を研修し、本市における将来への備えに寄与したいと考えております。

- ① 活動主体（協議体）のゾーニングと担い手の確保は一体的に考える
- ② 必要に応じ、民間事業者の活用も検討に値する
- ③ 認知症対応はエリア分けせず、各種会議に横断的に取り入れる
- ④ 家族の絆や地域の絆といった基本的な原点に戻ることも大切



経世会 行政視察報告②

鹿沼市において更なる取り組みが必要と思われる、障がい者福祉施設、犬殺処分ゼロなどの先進的な取り組みについて、沖縄県浦添市及び読谷村にて研修しました。結果は以下の5点に集約いたします。今後も引き続き、日本各地で試行錯誤されている先進的取り組み事例等に関心を持ち、研修を通じて、本市における将来へ提言の参考にしたいと思います。

- ① 障がいのある方への対応においては、幼少期から成人期までの一貫性のある継続支援が重要で、その拠点整備はとても大切
- ② ①を運営するうえでのポイントは医師等有資格者の確保
- ③ 犬の譲渡などを通じた、捕獲された犬等の殺処分ゼロの取り組みは、この活動を推進するボランティア団体との協働が基本
- ④ ③における行政側の取り組みは、活動し易い環境づくりなど後方支援
- ⑤ 戦後80年という節目にあたり、その社会的教育においては現場を見ることは何より大切



小島 実(5期)

住所：鹿沼市中栗野 136
TEL:0289-85-3227
FAX:0289-85-3927
産業建設常任委員会 委員
鹿沼市景観審議会 委員



質問 大雨被害について

答弁 経済部長(令和6年 第3回定例会)

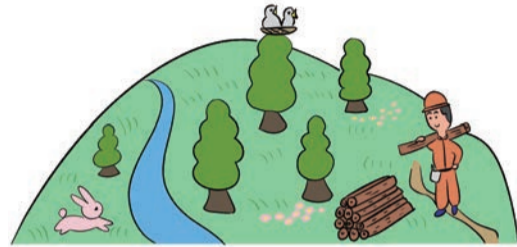
本市では、森林組合や林業事業者に、作業道の開設や林道修繕等のための補助を行っています。また、林地残材をバイオマス資源として有効活用を促すため、今年度から「チップ材等利活用支援事業補助金」を創設し、林地残材の運搬費用を一部補助しています。引き続き、各種制度の周知を図りながら、残材の搬出を促していきます。



質問 観光と森林整備について

答弁 市長(令和5年 第2回定例会)

入粟野境沢地区から上久我坂本地区を結ぶ道路の整備について、市民の利便性の向上だけでなく、西北部地域の観光振興の観点からも、点在する多様な観光資源を回遊しやすくなるという大きなメリットがあると考えています。当該区間を最短で結ぶ道路である県道入粟野・引田線について、県に対する要望も視野に検討していきます。



舘野 裕昭(4期)

住所：鹿沼市北赤塚町 52-1
TEL:0289-75-2740
mail:minami@one.bc9.jp
教育福祉常任委員会 委員
宇都宮西中核工業団地事務組合協議会議員



質問 予約バスの南押原地区及び北押原地区から西方病院への運行について

答弁 市民部長(令和6年 第4回定例会)

市では、地域の皆様からの要望を受け、今年の10月1日から当該区間の予約バスの実証運行を開始しました。期間については、今年度末をひとつの節目とは考えていますが、利用状況や、傾向などが掴めるまでは延長も視野に入れていと考えています。今後の利用件数増加の傾向が見られれば、増便等について検討していきます。



質問 デマンドバスの二次救急指定病院への乗り入れについて

答弁 市民部長(令和6年 第1回定例会)

南押原地区や近隣地区から西方病院への乗り入れについて、多くの方が乗り入れを望まれていることは承知しています。つきましては、実態を把握し、今後の運行の必要性を判断するため、西方病院をはじめ、関係各所と調整を図り、早ければ令和6年9月頃から、実証実験などに着手したいと考えています。



大貫 桂一(2期)

住所：鹿沼市加園 1026-1
TEL:0289-64-1172
mail:haruayu0609@yahoo.co.jp
産業建設常任委員会 委員長
鹿沼市人権啓発推進市民会議 委員



質問 産業誘致の今後について

答弁 市長(令和6年 第1回定例会)

西部地区は第8次総合計画において、1次産業資源やレクリエーション機能の確保、食を支える生産基盤の保存、活用を図るエリアとされています。基本的には、農業、林業等の1次産業を進行し、新規就農者や移住者の定住及び企業等の農業参入等を促していきます。一方で、ここを拠点に回遊が期待できるような仕組みづくりにも取り組んでいきます。



質問 大芦川川遊び対策について

答弁 総合政策部長(令和5年 第1回定例会)

河川利用に関する条例の内容について、地域と協議した結果を踏まえ、禁止する迷惑行為と地域を定めることで、川遊びのマナー向上を図っていきたく考えています。まずは令和5年度中の理念条例の制定を目指すとともに、将来の罰金化を視野に入れた検討も並行して進めていきます。



令和5年12月21日『大芦川流域における生活環境等の保全に関する条例』が制定され、令和6年4月1日から施行されました。



経世会議員 市政一般質問

令和3年9月議会より、現在の議場にて年4回の定例会を行っています。鹿沼の認証材をふんだんに使用し、議長席の後ろの壁には深岩石が貼ってあり、鹿沼らしさを表現した、厳かな雰囲気の中にも温かみのある議場です。一般質問などは予約無しで傍聴できますので、是非ともお寄り頂ければと思います。

質問 公営霊園における樹木葬を含む合葬墓について

答弁 市民部長(令和5年 第3回定例会)

墓地の継承者不在などによる無縁墓地の増加などを踏まえ、導入を検討していきたいと考えています。



今年度は、見笹霊園に合葬墓を整備するため約7千万円の予算が計上され、令和9年度の供用開始を目指しています。



石川 さやか(3期)

住所：鹿沼市天神町 1706-7
TEL:0289-63-1127
mail:saya926ka45@gmail.com
鹿沼市議会 副議長
総務常任委員会 委員



質問 いちごっこ出産・子育て応援給付金事業について

答弁 市長・保健福祉部長(令和6年 第2回定例会)

給付金は妊娠及び出生届出時の面談後に計10万円を給付する事業で、令和7年度より支給額を20万円に倍増することを具体的に検討していきます。また、オンラインでの相談も今後検討してまいります。



質問 野生鳥獣被害の現状や猟友会の人材確保について

答弁 経済部長(令和6年 第4回定例会)

ワイヤーメッシュの管理や有害鳥獣捕獲に関わる方々の高齢化や減少等が課題です。狩猟者の人材確保支援策として、県及び県内12市では各種免許取得の様々な支援があり、本市も市独自の支援策を研究してまいります。



質問 思川開発事業・南摩ダムに関連する市の対応について

答弁 市長(令和6年 第4回定例会)

事業主体である水資源機構が策定する「ダムの操作方法や管理に関する必要な事項」である「施設管理規程」の策定にあたり、市としては、地域住民の安全・安心に十分に配慮したルールになるよう、地元住民のご意見も踏まえながら、今後、水資源機構及び関係機関との協議を続けていきます。



質問 鹿沼市総合計画について

答弁 市長(令和6年 第3回定例会)

現在の総合計画については、令和8年度までの計画になっています。公約等を総合計画に早期に位置づけ、推進していくことが肝要であると思っています。次期計画の策定作業については、1年間前倒して、令和8年からスタートさせたいという方向で検討に入りました。



令和7年2月の市長定例記者会見において、『次期総合計画』を1年早め策定を進めるとの方針が示されました。

